

番号	3 - 17	申請者	つくし病棟 看護師 北原 日和
<p>【審査申請課題】</p> <p>筋緊張亢進がある重症心身障害児に対するタッチケアのリラクゼーション効果の検証 ～タクティールケア法を用いて～</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>重症児重症心身障害児（以下、重症児）の中には脳性麻痺などの障害により、筋緊張のコントロールが難しいことがあり、今回は日中の緊張が強く、効果的なリラクゼーション方法が分かっていない患者を選定した。筋緊張亢進に伴い呼吸障害や拘縮、側弯などの変形が助長され、様々な障害が併発する可能性がある。筋緊張亢進の原因として、不安・不機嫌・興奮などの心理的要素、疼痛などの身体的要素、暑さ・寒さなどの環境的要素などがあげられ、これらの要因をできる限り取り除いていくことが筋緊張亢進の治療に結びつくとされている。そのため薬を増やすだけでなく、効果的なリラクゼーション方法を見出すことで、日々の看護ケアにおいて筋緊張を取り除くことができるのではないかと考えた。先行研究では、タクティールケア法を用いたタッチケアは重症児にもリラクゼーション効果があるといわれている。今回筋緊張亢進に伴う呼吸障害や循環障害、外傷の可能性のある患者に対してタクティールケア法を用いたタッチケアを実施し、先行研究同様のリラクゼーション効果が期待できるか検証していきたい。</p>			
審査結果	承認（令和3年5月14日）		